

平成29年4月10日

各位

会社名 株式会社きよくとう
代表者名 代表取締役会長兼社長 牧平 年廣
(コード: 2300、東証 JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長 安武 浩
(TEL. 092-503-0050)

特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年2月期決算において、下記のとおり特別損失の計上を見込むとともに、平成28年4月15日の平成28年2月期決算発表時に開示した平成29年2月期通期(平成28年3月1日～平成29年2月28日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の計上の内容

当社の保有する固定資産のうち、収益性の低下が見られた工場について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失243百万円を計上いたします。

2. 当期の業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	257	350	204	36.81
今回修正予想(B)	6,803	361	446	94	16.98
増減額(B-A)	△296	104	96	△109	—
増減率(%)	△4.2	40.6	27.7	△53.9	—
(参考)前期実績 (平成28年2月期)	6,868	139	230	55	9.95

3. 修正の理由

不確実な海外の政治経済情勢に伴う不安定な国内経済を背景に、依然として消費者の節約志向は強く、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、売上増加施策として平成28年3月1日にお客様利便性向上を目指したドライブスルー店を福岡県久留米市にオープンし、平成28年4月1日付で事業の一部譲受けにより大阪府堺市に1工場10店舗を取得、更に新規出店42店(うち10店舗は平成28年4月1日付事業譲受で取得した店舗)を実施しました。しかしながら、個人消費低迷による売上の減少や不採算店の閉鎖53店等の影響もあり、売上を伸ばすには至らず当初の業績予想を下回る見込みとなりました。

一方、利益につきましては、生産面で人体フォーマー(上着立体仕上機)を全工場に導入し、生産性の大幅な向上を図り、また営業店舗の定休日の新設を含む営業時間の見直しや労働時間管理による人件費の削減等、コストの圧縮に継続的に取り組んだ結果、営業利益は361百万円、経常利益446百万円と当初予想を上回る見込みとなりました。一方で当期純利益は特別損失として、上記の減損損失の計上を見込むこと等により、当初予想より109百万円減少の94百万円となる見込みです。

*上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上